

仙台市議会は6月9日に第2回定例会が閉会し、物価高騰に対応するため保育所や福祉施設、学校給食への助成を含む23億7,000万円余りを増額する補正予算案等が可決されました。今議会は一般質問において学校給食のあり方、また学校給食への食材として有機農産物利用の推進を求めました。また、市営住宅の居住環境の向上や、津波避難施設の確保等を訴えております。5月に行われた都市整備建設委員会での地域交通やバスの運賃の議論を含めご報告申し上げます。

常任委員会とは、事務が広範囲なため、部門別に委員会を設け、分科的に調査・審査することが最も合理的・効率的であると設置されております。仙台市議会は、市民教育委員会、健康福祉委員会、総務財政委員会、都市整備建設委員会、経済環境委員会の5委員会です。

常任委員会／都市整備建設委員会【5月19日】

- ・仙台市営バスにおける運賃計算の考え方
・鶴巻／岡田地区、田子／岩切余目地区における地域交通の進捗状況と今後の支援

一般質問とは、年4回の定例会の際、議員が議案に関係なく、市政の諸課題や将来への展望や自身の考えに関して、市に質問を行うもの。質問する議員は、事前に質問事項の通告を行い、持ち時間内でその通告の内容に沿って一般質問を行います。

第2回定例会 一般質問【6月2日】

- ・有機農業の現状と有機農産物拡大のための公共調達
・学校給食における単独調理場方式の拡大
・ICT教育の底上げ
・津波浸水想定拡大に伴う新規避難先の確保状況と今後のスケジュール
・個別最適な地域毎の津波防災マップの作成
・県道亘理塩釜線の渋滞対策
・ハト対策等の市営住宅の居住環境向上策



有機農業の現状と有機農産物拡大のための公共調達

(有機農業が求められる背景)

- ①環境問題、食料安全保障の危機、地域農業の衰退による循環型社会に貢献する食が求められている。
②一昨年、農林水産省により「みどりの食料システム戦略」が策定される。
⇒2050年までに耕地面積に占める有機農業の取り組み面積を25%に拡大することなどの目標が掲げられている。

(経済局)

※令和4年度末現在

5.67ha. (有機農業面積)

5,800ha. (仙台市全体耕地面積)

仙台市の有機農業面積は
全体の0.1%のみ

仙台の現状!

(有機農業の課題)

- ①有機農業者に対するサポートが少ない。
②有機農産物を受け入れるマーケットがない。
③民間に有機農産物を強制的に調達させるのは不可。
④品質、収穫量が不安定。



(有機農業拡大の政策提案)

政策提案!

- ①仙台市により有機農家支援する。
②公共調達による有機農産物マーケットの形成する。
⇒特に大量の供給量が期待できる学校への調達指示。
⇒安定した品質が期待出来る農産物から供給を始める。
③有機農家による学校給食向けの供給が可能となる。





## Look 鶴巻 / 岡田地区、田子 / 余目地区における地域交通の進捗と支援

**地域交通**とは公共交通のサービスレベルが低い地域において、通学・通勤・通院・買い物等の市民の日常生活に必要不可欠な目的のために運行する既存の公共交通を補完する交通手段をいいます。

(質問) 地域交通の運行を目指している地区がございます。その地区は。

(都市整備局) 令和2年度の移動実態調査以降7地区において、地域の実情にあった移動手段について意見交換を行ってきた。このうち、地域交通の運行を目指し運行計画の検討などに取り組む意識の共有が図られた田子・余目地区、岡田・鶴巻地区、六郷東部地区の3地区におきまして、令和5年4月に地元町内会などで構成される検討組織の設立総会が行われたところです。

(質問) 今後、本格運行に至るまで、どのくらいの期間を要するのか、そしてこれらの地域が、現時点でどのステップに位置するのか。

(都市整備局) 検討組織設立から本格運行に至るまでの期間については、目安としておおむね4年程度の期間を要します。田子・余目地区、岡田・鶴巻地区、六郷東部地区について、現時点では、この4年間のスタートとなる運行計画の検討を始める段階にあり、各地区の事情に応じてスピード感は異なってくると思われませんが、まずは令和6年度早々に一回目の試験運行を開始することを目指して進めていきます。

この地域のバス路線の行先は地下鉄荒井駅  
行きたいのは東北薬科大病院や高砂証明発行センター等の陸前高砂駅や福田町方面なのに・・・



岡田・鶴巻方面からの声

## Look 仙台市営バスにおける運賃計算の考え方

(質問) 路線バスが充実しても、中心部までバス利用するのに、乗車距離が長い場合における運賃がかかりすぎるとの意見が多い。本市においての、市営バス運賃の算出方法は。

(交通局) ※要点のみ

- ・バスに乗車する距離に応じて運賃が決まる「対キロ区間制」を採用している。
- ・1 kmあたり38円10銭という基準賃率を乗じて算出する。
- ・乗車距離が長いほど運賃を軽減するため10km以上から0.9,0.8,0.7 と乗じる。



大学病院や仙台駅前へ行くのにバスを利用しているけど距離が長いから運賃が高くて・・・

鶴ヶ谷・福室 (多賀城寄り) からの声

(質問) 首都圏においてバス運賃が150円とか200円とか一律の路線があるが、他政令指定都市の状況はどうか、また、仙台市と同規模の面積や人口規模の政令市の状況をお示し頂ければと思います。

(交通局) ※政令指定都市で公営バスを運営している都市

都市	料金制度
仙台市	「対キロ区間制」 ※市中心部や東西線の主要な結節駅の周辺では一部均一運賃を設定
北九州市	「特殊な区間制」 ※通過する区間数に応じて段階的に料金が增加
神戸市	市街地「均一制」、郊外部「対キロ区間制」
横浜市 川崎市 名古屋市 京都市	「均一制」



仙台市営バスは距離により運賃が高くなる制度を採用しており、乗車距離が長い場合に軽減措置をしております。この軽減率が妥当かの議論が必要であり、郊外の方も平等にするには「均一制」の議論も必要となります。



## 津波避難先の新規確保と今後のスケジュール

昨年5月に新たな津波の浸水想定を宮城県が発表してから、仙台市は、新たに浸水想定域となった範囲で避難施設を検討しておりますが、新規避難先として確保したのは市有施設の2カ所です。

**(質問)** 新たに津波浸水想定域となった範囲内において新規の避難施設を検討しているが、市有施設以外が一つも出てきていない。現在の協議状況と今後のスケジュールをお示しください。



(危機管理局) 新たに津波浸水エリアとなった地域におきましては、早期に避難環境を拡充する観点から、市有施設について優先的に検討を行い、条件を満たすものを津波避難施設として指定しました。また、民間施設にも、その活用可能性を調査し、働きかけを行ってきたが、その多くの施設では津波に対する強度を簡易に判定することが困難であるほか、24時間避難者を受け入れる態勢を確保する必要がある等、施設側の負担もあり、指定にまでは至っていない。民間施設の活用には、施設側の協力が不可欠であり、現時点でスケジュールをお示しすることはできませんけれども、現在、ネクスコ東日本とも東部道路の活用可能性について協議を続けており、一カ所でも多くの避難施設をできるだけ早期に確保できるよう、引き続き、地域の民間施設の規模や形態についての確認作業を進め、対象となる施設に働きかけてまいります。

**(再質問)** 津波浸水想定範囲内において避難候補先には限りがある。その限りある避難先をリストアップして計画的にアプローチすればスケジュールは示せるはず。あと半年なのか一年なのか、新たな避難先が確保できないならば次の手段の検討が必要だ。

(危機管理局) 現在、リストアップしている施設、これに基づきましてその施設の状況等を確認し、また施設側に働きかけなどを行っているところでございます。ご答弁繰り返しになりますけれども、この中から24時間避難者を受け入れることが可能かどうか、また避難者が滞在できるスペースがしっかりあるのか等を確認しながら施設側にも説明を行った上でご理解をいただく必要があるということで、現時点では具体的なスケジュールについてはお示しすることはできませんけれども、ご指摘のように、私どもとしてはしっかりスピード感を持って取り組んでまいりたいと存じます。

## 地域ごとに個別最適な津波防災マップの作成

**(質問)** 津波浸水想定拡大につき、津波情報伝達システム、屋外拡声器の拡大が図られております。今年度中に宮城野区9カ所(※)、若林区6カ所の計15カ所に設置されるように、津波の早期避難の呼びかけは重要です。そして、避難先の目途がたったところで、次は、地域毎に新たな避難所を示した災害マップの作成を求めますがご見解を伺います。

今後の屋外拡声器の増設場所(※)

増設場所	所在地
中野中学校	宮城野区中野高橋前 65
福室上町東公園	宮城野区福室五丁目 6
高砂駅西公園	宮城野区福室二丁目 7-9
高砂一丁目公園	宮城野区高砂一丁目 23-1
福住町公園	宮城野区福住町 9-2
扇町一丁目公園	宮城野区扇町一丁目 4
扇町四丁目公園	宮城野区扇町四丁目 9-1
福田町南一丁目公園	宮城野区福田町南一丁目 1007
岡田西町公園	宮城野区岡田西町 2

今年9月から来年3月の間に設置予定



(危機管理局) 今後、対象となる地域に対しましては、新たな津波避難施設の追加状況等を踏まえつつ、地域の実情に応じた、実効性の高い津波防災マップを作成できるよう、働きかけや必要な支援等を行ってまいりたいと存じます。



## Look 学校給食における単独調理校方式の拡大を

学校給食における単独調理場方式と共同調理場方式の違いは、調理場の場所と調理の規模である。単独調理場方式は、学校の敷地内に調理場があり、その学校分の調理を行い、共同調理場方式は敷地外に調理場があり、複数校分の調理を行い、各校へ配送しております。

(宮城野区内における学校給食の調理方式状況)

小・中	単独・共同	学校数	調理場	学校
小学校	単独調理場方式	16校	各学校	榴岡、原町、岩切、高砂、岡田、東仙台、宮城野、新田、鶴谷、燕沢、中野栄、柝江、東宮城野、田子、幸町南、西山
	共同調理場方式	4校	高砂学校給食センター	福室(※)、幸町、鶴巻、鶴谷東
中学校	単独調理場方式	0校	—	—
	共同調理場方式	10校	高砂学校給食センター 荒巻学校給食センター	宮城野、東仙台、高砂、岩切、中野、幸町、西山、田子 東華、鶴谷

(質問) 給食については手間をかけてこそ美味しいものが出来上がるわけで、子どもたちの食の楽しみに効率化を求めず、コスト削減のターゲットにはしてはならないと感じます。手間をかけた出来立ての給食を提供することができる単独調理校を増やすべきと考えますがご見解を伺う。

(教育長) 児童生徒数の減少や施設の老朽化に伴う整備費の増加といった課題がある中、給食センター対象校を単独調理校とすることは、新たに調理室の整備が必要であり、施設上の制約や費用の面から課題もある。教育委員会としては、引き続き、双方の提供方式の特性を活かしながら、児童生徒に喜ばれ、将来的にも安全で安心な学校給食を継続して実施できるよう、給食施設のあり方について、保護者及び有識者の皆様からのご意見も頂きながら、丁寧に検討してまいりたいと存じます。

(意見) 単独調理方式導入の要望が福室地区からございます。福室小学校(※)の保護者や、学区10町内会の総意として、教育長に要望書を提出する予定。福室小学校は建替えに向けて整備が進んでいる。要は、調理場を設置する50年に一度のチャンス。前向きに検討をして頂くことをこの場(議場)でも願います。



福室小学校は建替え整備がすすみます。

## Look 県道亘理塩釜線、高砂橋付近の渋滞対策について

(質問) 鍋沼交差点の整備が終わり渋滞解消を期待してたが、未だに渋滞がおさまらない。周辺より、県道亘理塩釜線に並行している、かさ上げ道路側に交通量を分散させるため、七北田川に橋を架橋し対岸までの交通ルートをつくるべきという意見が多くでていいる。この地域の渋滞対策について、次の手段を伺います。



渋滞対策として、かさ上げ道路の蒲生・南蒲生間、七北田川の橋の架橋のご意見がございいます。

(建設局) 県道塩釜亘理線は、仙台港と仙台空港を結ぶ、物流上重要な道路となっておりますが、昨年9月に高砂橋南側の交差点に右折レーンを設置したところでございいます。一方、改善した箇所以外では、現在も一定の渋滞がみられるため、北側の連続する信号の青時間の間隔について県警と協議し、4月に変更したところ。今後、これらの対策についての効果検証を行い、この結果を踏まえながら渋滞の緩和に努めてまいります。

## Look ハト対策等の市営住宅の居住環境向上策

(質問) 集合住宅の場合、ハトは、住人不在のベランダに巣をつくり始め、それによりハトが増え続け、糞や羽毛が散乱し環境が悪化していく心配がございいます。繁殖力の強いハトの対策は最初が肝心ですが、既に市内市営住宅において相談が増えている状況とのことです。この問題の現状と対策をお示しくたさい。



ハト対策が求められている。(写真はハト除けスパイク)

(建設局) 近年、一部の市営住宅においてハトによる被害の相談が増加傾向にあり、住民の皆様においても、防鳥ネットの設置など、それぞれ対策を講じられており、日々の生活において切実な問題であると認識している。本市も、共用部等の清掃や防鳥ネットの一部設置など、住民の皆様からの相談に応じ、様々対策を講じている。引き続き、効果的な対策について、住民の皆様とも相談しながら、必要な対策に取り組んでまいります。